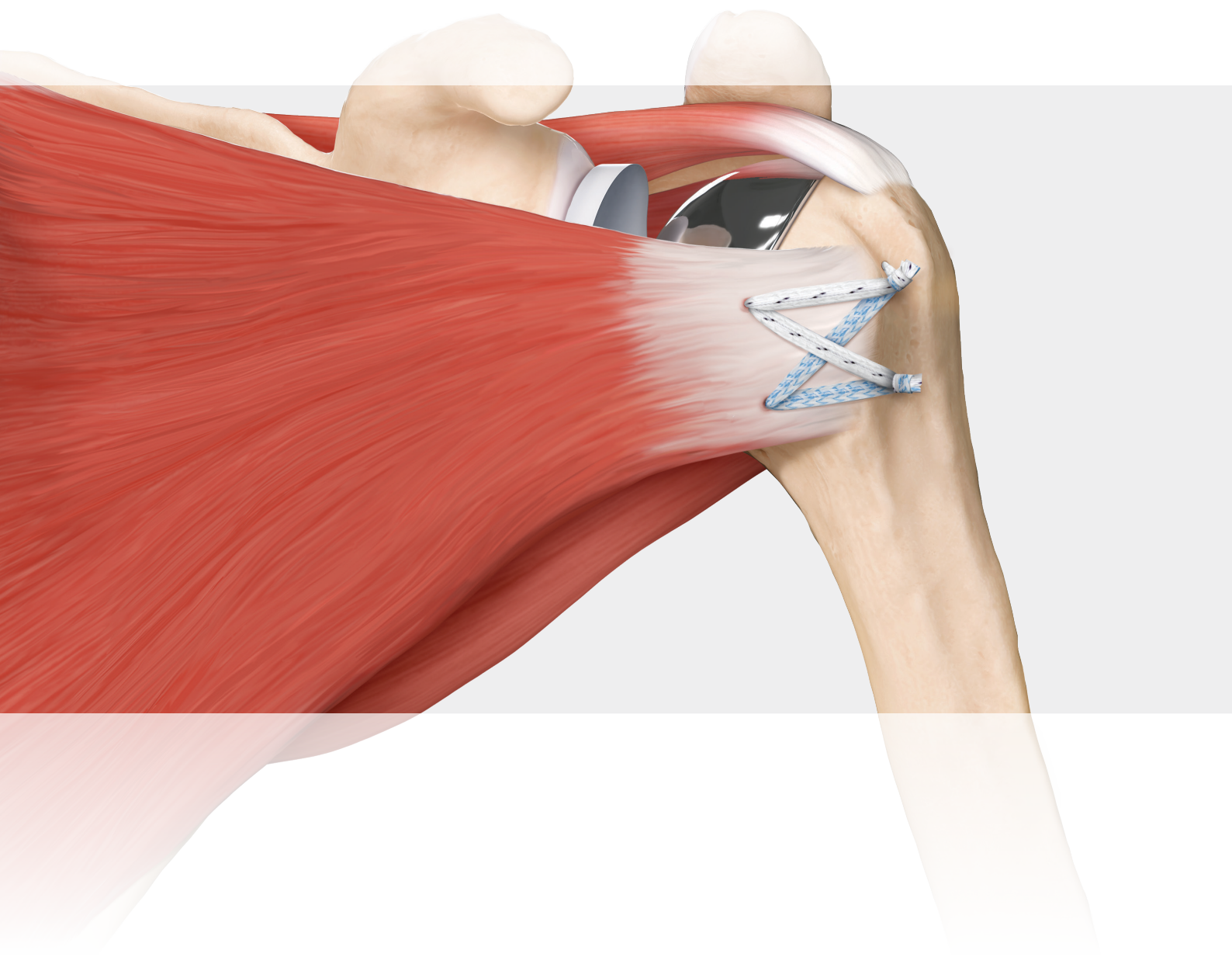


# FiberTape™ Tendon Compression Bridge

Surgical Technique



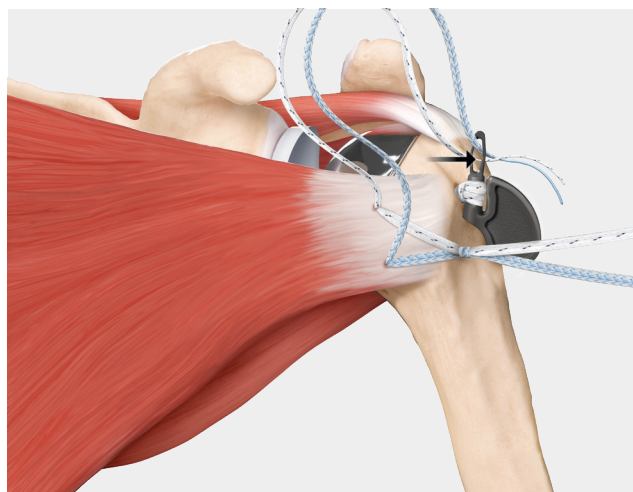
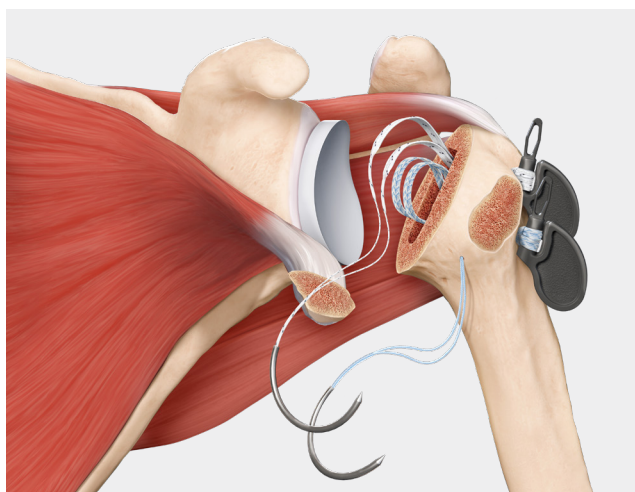
# FiberTape™ Tendon Compression Bridge

## Product Overview

FiberTape™ Tendon Compression Bridge Kitは、肩甲下筋腱修復を、シンプルかつ効率的に行う方法を提供します。この手技は、肩甲下筋剥離法または小結節骨切り術 (LTO) を行った場合に使用できます。

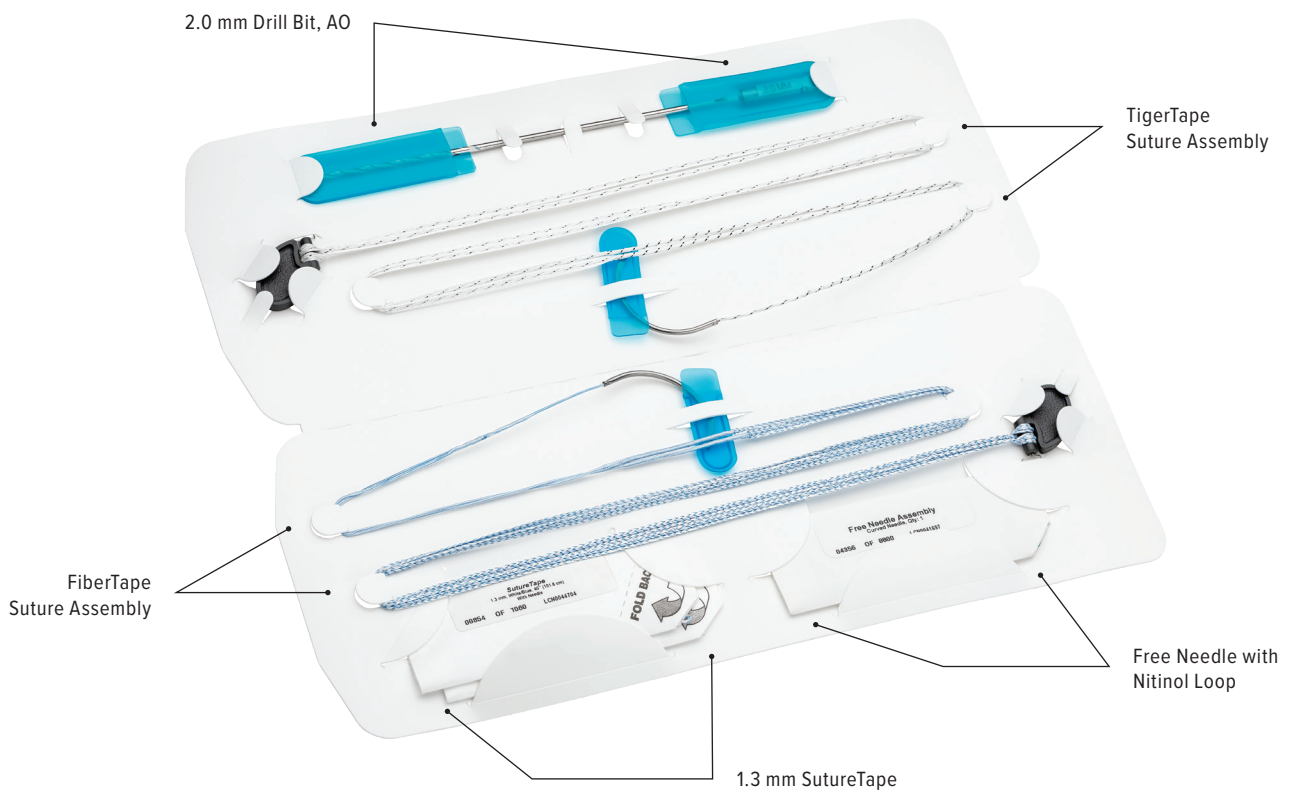
### Design Features:

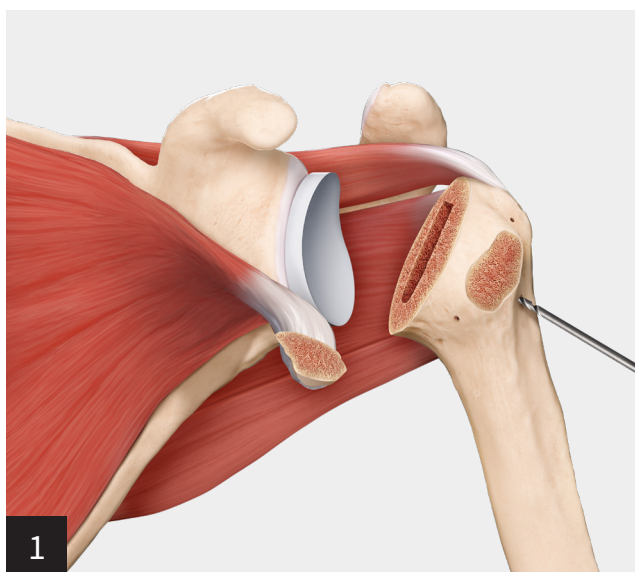
- あらかじめ用意された結び目をしっかり保持できるよう設計されたスーチャーパッサー
- サムタブと広いアイレットを備え、握りやすく縫合糸を通しやすい人間工学的デザイン



## Kit Contents

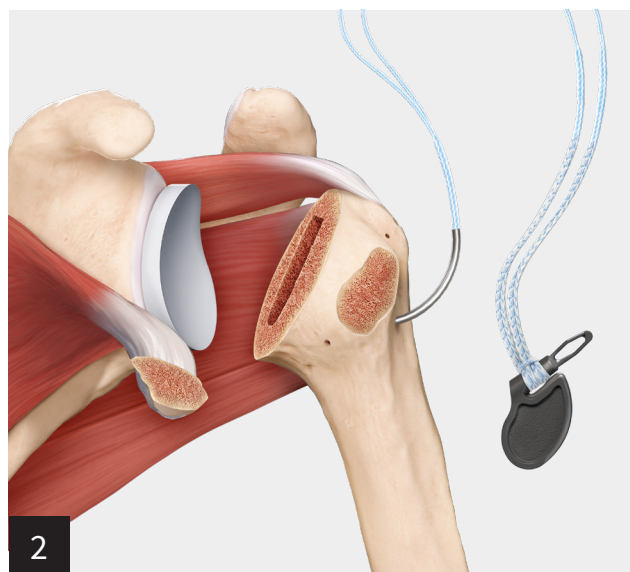
- 2.0 mm Drill Bit, AO
- TigerTape™ Suture Assembly
- FiberTape® Suture Assembly
- 1.3 mm SutureTape, 40 in w/ ½ Circle Tapered Needle
- Free Needle w/ Nitinol Wire



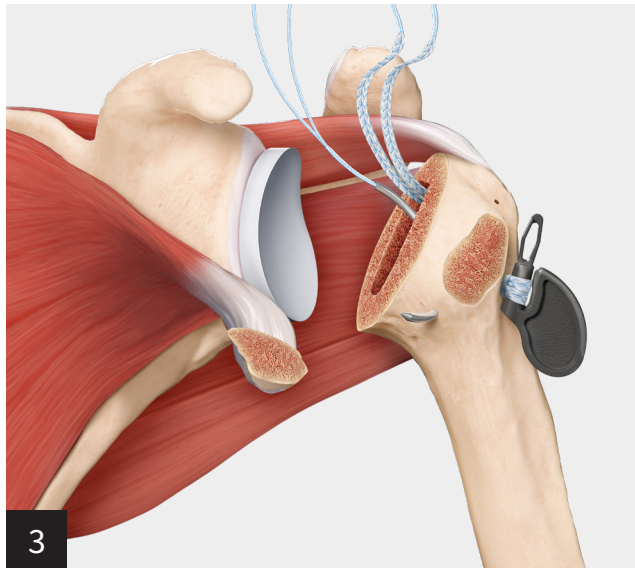


2.0 mmドリルを使用して、結節間溝に2か所、さらに小結節の内側に1か所骨孔を作成します。

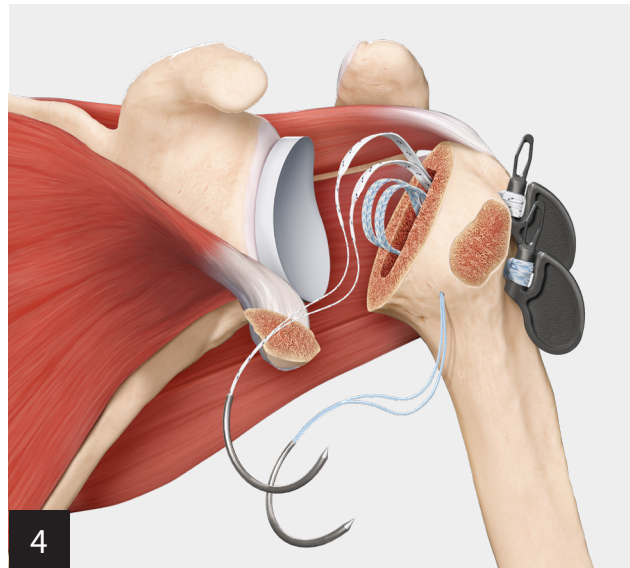
**補足：カラーの無いステムを使用する場合は、結節の内側に更に1か所骨孔を作成します。**



付属のニードルを使って、FiberTape®のアセンブリを骨の下外側に作成した骨孔へ通します。次に、縫合糸を骨の内側方向に引いていき、黒色のスーチャーパッサーが上腕二頭筋溝にしっかり収まる位置まで誘導してください。



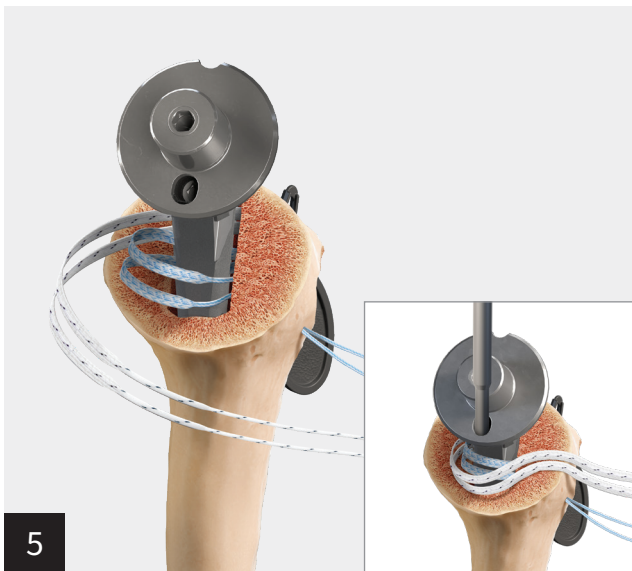
FiberTape™に付属するニードルを、骨の内側から図のように、小結節内側の骨孔に通していきます。その際、この後の手順でループの中にステムインプラントを通すために、FiberTape™のループは上腕骨の外側に残したままにしてください。



TigerTape™のアセンブリを骨の上外側に作成したトンネルへ通します。次に、TigerTapeの縫合糸を引いて、スーチャーパッサーが上腕二頭筋溝にしっかり収まる位置まで誘導してください。

**カラー付きステムインプラント：**TigerTapeの両端は、予定するステムインプラントのカラーの下に配置します。

**カラーなしステムインプラントする場合：**TigerTapeの縫合糸は、ステップ2の手順と同様に、追加で小結節内側に追加で作成した骨孔に通す必要があります。TigerTape™のループは骨の内側に残しておきます。



5  
 上腕骨ステムインプラントの遠位端を、FiberTape®とTigerTape™の縫合糸ループの中に通します。ステムを先端のあるステムインパクトで打ち込む際、内側の糸端を軽く引いて位置を調整してください。



6  
 ステムインパクトを使用して、ステムインプラントを打ち込みます。

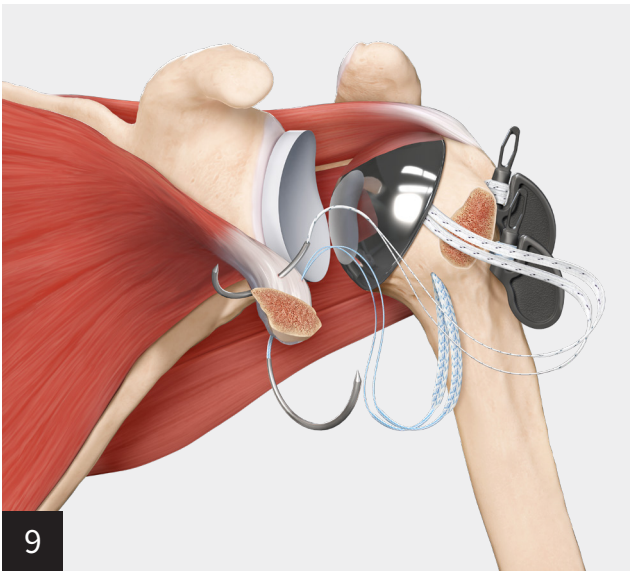


7  
 トルクドライバーを使用して、下方のスクリューを締めてインプラントのインクリネーションを、上方のスクリューを締めてバージョンをそれぞれ固定してください。

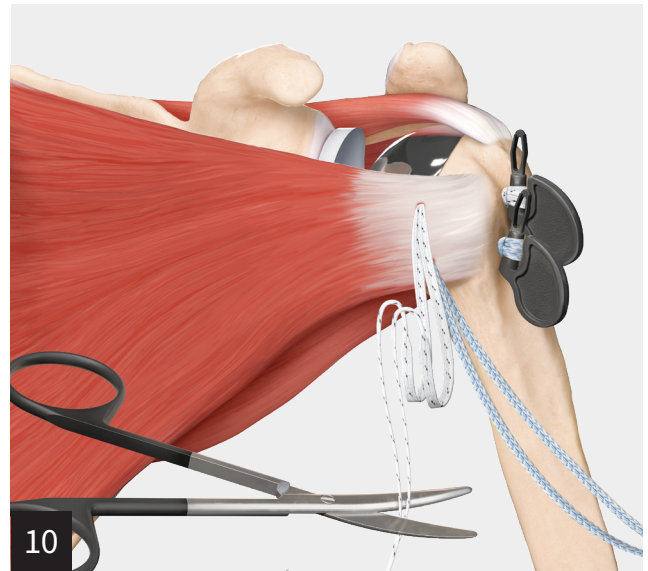
この段階で、最終コンポーネントを打ち込む前に安定性を確認するため、トライアルヘッドを使用することができます。



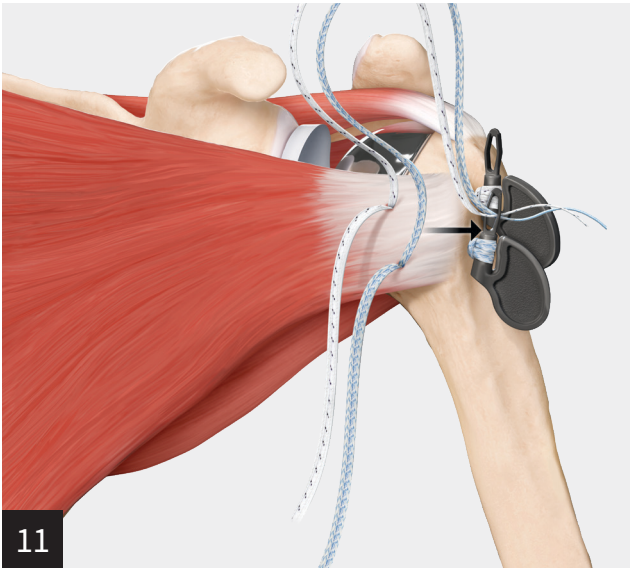
8  
 最終インプラントを選択したら、ステムのモールステーパ部を清掃してください。その後、ヒューメラルヘッドインプラントを所定の位置に打ち込みます。



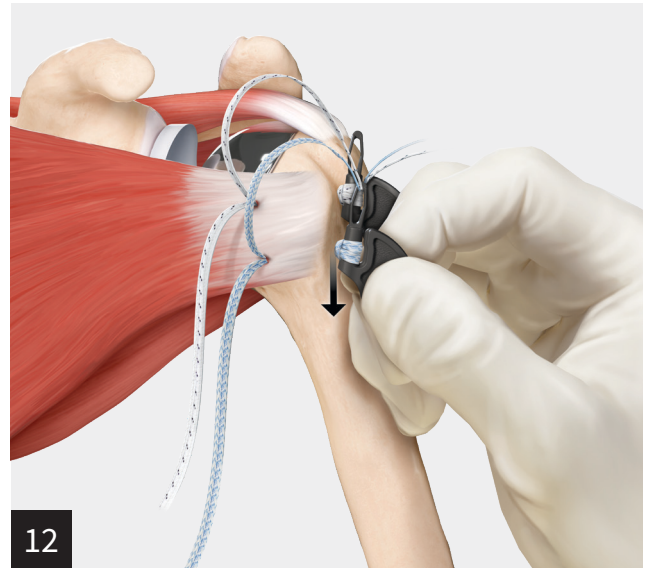
上腕骨ステムの設置が完了した後、縫合糸アセンブリに付属しているニードルを使い、それぞれの縫合糸を肩甲下筋腱に通してください。



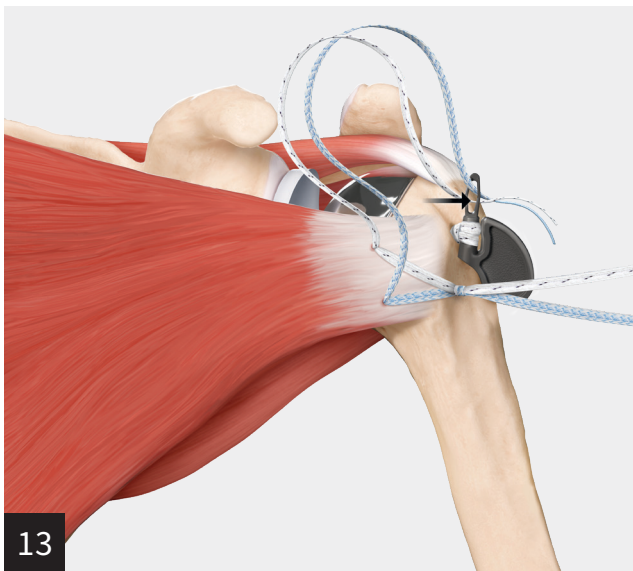
肩甲下筋腱を整復したら、縫合糸からニードルをカットし、4本の縫合糸にします。



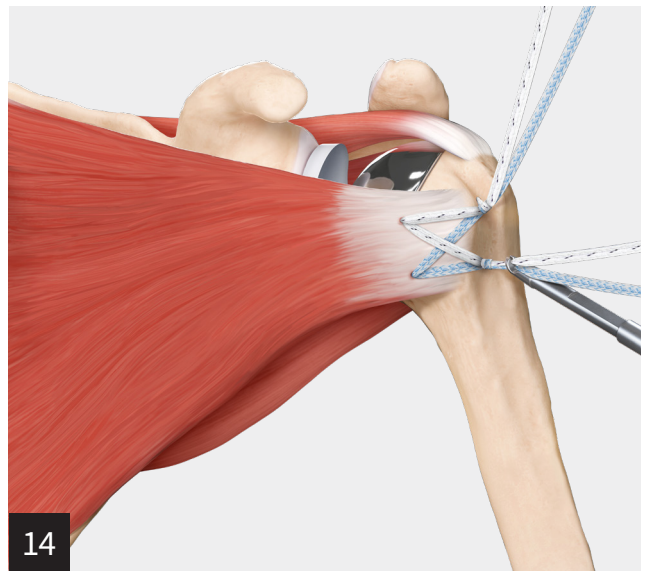
FiberTape®とTigerTape™の各縫合糸から1本ずつ、その糸端を下方のスーチャーパッサーのアイレットに通してください。



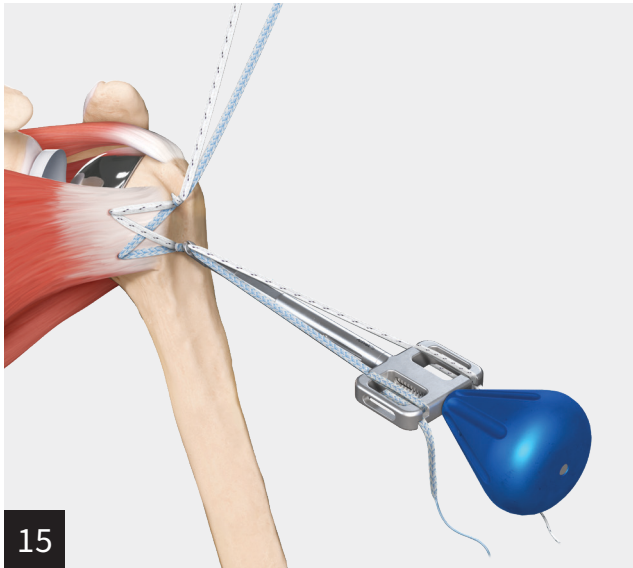
サムタブを持ち、スーチャーパッサーを下方に引いて、あらかじめ作られた結び目に縫合糸を通していきます。



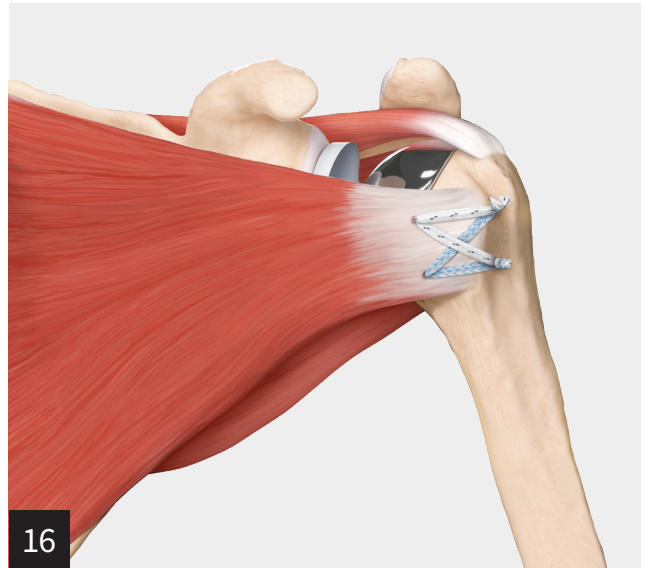
残りの縫合糸端についても、上方のスーチャーパッサーを使い、同様の手順を繰り返します。



ここからは肩甲下筋の結紮プロセスに移ります。下方の結び目から始め、1本の縫合糸をスーチャーテンショナー先端の穴に通します。もう1本の縫合糸は、先端のスロット付きの穴に通してください。スーチャーテンショナーを進め、先端が結び目の束に当たる位置まで移動させます。



それぞれの縫合糸を、図のようにスーチャーテンショナーのパドルにある切り掛けに引っ掛けます。青いハンドルを時計回りに回して縫合糸にテンションをかけてください。テンションをかけ終わったら、糸をパドルの切り掛けから外し、テンショナーを取り外します。



結び目を固定するために、少なくとも2回、交互にハーフヒッチノットを結んでください。

上方の結び目に対しても同様の手順を繰り返します。

**注記：**  
必要に応じて、ハーフヒッチの上から再度テンションをかけることができます。

## Ordering Information

製品名	製品番号
Tendon Compression Bridgeキット	AR-7297-2

販売名	承認等番号	一般的名称	規制区分	機能区分
Arthrex 肩関節用縫合キット	30700BZX00293000	非吸収性人工靭帯	クラスIII	靭帯・F8

● 製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

**arthrex.co.jp**

© 2025 Arthrex Japan合同会社 All rights reserved. LT7-000304-ja-JP\_A  
〒163-0828 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル28F

